

令和元年度 事例紹介

小田原市建築職インターンシップは、大学生・大学院生の皆さんに、小田原市での就業体験の場を提供し、就業体験を通じて、市政に対する理解を深めていただくことを目的としています。

令和元年度におこなったインターンシップの事例紹介

令和元年度は、8月に2名の大学3年生に参加していただき、建築技術職がおこなっている、日ごろの業務を体験してもらいました。

3日間の体験内容を紹介していきたいと思います。

初日の午前中は、建築課の**仕事の内容**を紹介させていただきました。新築・改修・解体・移築・用途変更など、建築課の業務は、公共施設の建築すべてに関わります。電気や給排水等、設備についての知識も必要ですし、企画立案から設計、積算、現場監理、維持保全策の提案など多岐に渡ります。学生の皆さんが興味をお持ちの、職場環境などの質問にも、ありのままに回答しました。単なる就業体験ではなく、職場の雰囲気や職員の待遇などについても、小田原市で働く建築技術職の実態を知っていただけないかと思います。

午後からは**現場を見学**しました。市民ホールの建設現場や小学校のトイレ改修工事などの現在施工中の現場を回りました。学生の皆さんにとっては、間近で見る工事現場に、少し驚いていた様子も伺えましたが、設計に関するもの他にも、安全対策や工事工程の進捗管理など、モノが出来上がっていく過程の実務も、感じとっていただけたかと思います。



二日目は、建築課内の**定例ミーティング**に参加していただきました。担当している業務の報告や相談を定期的に行っています。解らないことや抱えている課題を、職場内で共有することで、業務効率の向上や悩み事を解消する上で有意義な時間となっていて、配属されて間もない職員も不安無く仕事に打ち込めています。続いて、市役所内の各部署に配属されている建築技術職から、それぞれの職場での業務内容の説明を受けました。公共施設マネジメント課・まちづくり交通課・建築指導課・病院再整備課の職員から、それぞれ30分ほど説明を受けましたが、難解な専門用語についても、その都度理解しやすいように事例を交え、学生の皆さんにも解り易かったのではないのでしょうか。公務員の職場では数年で部署を異動しますので、全く業務内容の違う職場で働くこともあります。求められているのは建築技術職としての基礎知識や業務で得た経験です。最初は何も解らなくても、自分の担当する業務内容を説明できるくらいの経験を積めば、一人前の証（あかし）ということです。



最終日は、実務の体験をしていただきました。改修が予定されている建築物の現場調査です。改修内容や施設の現状と課題、調査方法や過去の工事写真等の説明を受けた後に調査をし、実際に資料にまとめて、調査結果の報告をしていただきました。報告内容を、相手に簡潔に解り易く伝えることの大切さについて、学んだことを今後に役立てていただきたいと思います。長いようで短かった令和元年度のインターンシップ研修を、無事に終えることができました。参加された学生の皆さん、お疲れさまでした。

ありがとうございました！

小田原市役所建築課では、令和2年度もインターンシップの受入れをおこないます。

公務員の建築職に興味を持っている方は、是非、小田原市の建築職インターンシップに申し込んでみては？

インターンシップ受入れ・業務内容問合せ先

小田原市建設部建築課 〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地 電話 0465(33)1559